

秋田市少年指導センターだより

わかくさ

第19号

発行 秋田市少年指導センター

〒010-8506 秋田市東通仲町4番1号 電話 018(884)3869

(秋田拠点センターアルヴェ5F 子ども未来センター内)

編集 秋田市少年指導委員会 広報部会

第29期

秋田市少年指導委員委嘱式行われる



令和4年度
秋田市少年指導センターの活動

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、委嘱式や運営協議会、地区代表者会議の開催など、ほぼ例年の活動を実施しました。また、各地区少年指導委員会も新体制となり、順調に活動を進めていきます。6月には、「育成団体情報交換会」が開催され、3つの警察署からの情報交換会が開催されました。

7月8日(金)、秋田市役所正庁において、第29期秋田市少年指導委員委嘱式が行われ、秋田市長から少年指導委員267名に委嘱状が交付されました。また、10年以上活動を行つてきました。少年指導委員13名に感謝状が贈呈されました。

(中央第二) 菊地峯生 高橋涼華子

館岡直子 倉嶋志津子

(土崎地区) 奈良毅 高橋涼華子

(西部地区) 大友悦子 倉嶋志津子

(東部地区) 中村伸子 加賀谷匡 高橋涼華子

(北部地区) 佐々木裕美子 高橋涼華子

(河辺地区) 松山順子 佐藤早人

(南部地区) 佐々木寿子 佐藤早人

(雄和地区) 安田道子 佐藤早人

(東部地区) 加賀谷匡 佐藤早人

(北部地区) 佐々木裕美子 佐藤早人

(河辺地区) 松山順子 佐藤早人

(南部地区) 佐々木寿子 佐藤早人

(雄和地区) 安田道子 佐藤早人

(東部地区) 加賀谷匡 佐藤早人

(北部地区) 佐々木裕美子 佐藤早人

(河辺地区) 松山順子 佐藤早人

(南部地区) 佐々木寿子 佐藤早人

(雄和地区) 安田道子 佐藤早人

市の記念日式典における一般表彰

7月12日(火)、秋田市文化会館において、市の記念日式典が開催され、秋田市長から、永年にわたり少年指導委員としてご尽力いただいた方々へ表彰状が贈呈されました。

(中央第二) 齊藤洋子 和泉孝枝
(王崎地区) 長門玲子 佐藤貴子
(西部地区) 萬谷憲一 佐藤貴子
(東部地区) 福井精一 佐藤貴子
(北部地区) 船木勇一 工藤明美
(南部地区) 田子多津子 齊藤昭満
(雄和地区) 佐々木廣次
(東部地区) 田子多津子 齊藤昭満
(北部地区) 永田凡人 佐藤貴子

巡回活動については、一部の特別巡回は中止となつたものの、「土崎港曳山まつり」と「秋田竿燈まつり」での特別巡回ならびに年末特別巡回は感染症対策に配慮しながら実施しました。なお、毎月の定例巡回も予定どおり実施しています。11月には、「子供・若者育成支援推進強調月間」のキヤンペーンを各地区で実施し、あいさつ運動やキヤンペーングッズの配布など、地区的状況に合った活動を工夫しながら行つています。

巡回活動については、一部の特別巡回は中止となつたものの、「土崎港曳山まつり」と「秋田竿燈まつり」での特別巡回ならびに年末特別巡回は感染症対策に配慮しながら実施しました。なお、毎月の定例巡回も予定どおり実施しています。11月には、「子供・若者育成支援推進強調月間」のキヤンペーンを各地区で実施し、あいさつ運動やキヤンペーングッズの配布など、地区的状況に合った活動を工夫しながら行つています。



秋田市少年指導センター

所長 伊藤 和則

「見えない実態（児童虐待）」

今日は、児童虐待のことに触れたいと思います。「本市における児童虐待の実態はどうなんだろう」といつも考えますが、答えは見つかりません。昨年度、本市が対応した児童虐待は、新規受理ケースが117件、前年度からの継続ケースが110件の合計227件でした。これらは、市民や関係機関等からの本市への通告等を受けて対応したもので、ここ数年、その数は増加傾向にあります。しかし、この数値は、本市の実態を表したものなのでしょうか。実態は、このとおりなのか、それともはるかに多いのか。

児童虐待は、様々に事情の異なる個々の家庭の中で、多くは、他者の目の届かないところで起きます。数値には現れない（通告等に繋がっていない）ケースは相当数あるものと推測され、「虐待にあたる行為が長期にわたり行われてきた」「何度も繰り返されてきた」というものがあります。

実態が見えないとすることは、見てている数値の増減に一喜一憂することはできないと云ふことです。今は、たとえ対応件数が年間10件になつたとしても、支援に繋がつていないうちもが確実にいると考えざるを得ないと云ふ。やりきれないを感じています。

本市はこれからも、児童虐待の未然防止に向けたメッセージを発信し続けるとともに、早期発見・早期対応に努め、支援が必要な子どもに対しても、その家庭が抱える問題が解決されるよう、そして、虐待が繰り返されないようにサポートしてまいります。そのためには、地域のアンテナを張つていただき、困難の中にある子どもを一刻も早く支援に繋げられるよう、お力添えをお願いいたします。

学校の特色ある健全育成活動

夢に向かつて
やさしく かしこく たくましく



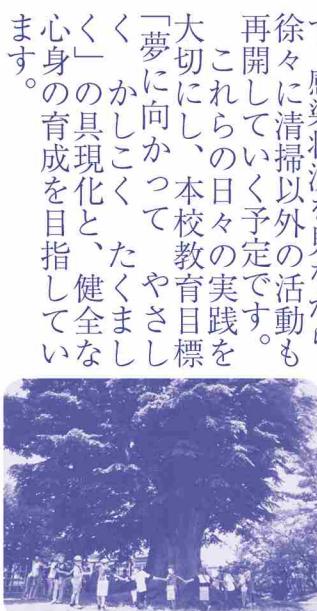
秋田市立旭川小学校

教頭 鈴木 達哉

地域に学ぶ「風の子」たち

秋田市立四ツ小屋小学校

教頭 渡邊 晓



田に囲まれた学校です。強い風が吹き付けることも多く、子どもたちは「風の子」と呼ばれています。そんな風の子たちは、地域の「人・もの・こと」と関わりながら、楽しく学んでいます。

今年度、本校は創立148周年を迎えました。手形地区から仁別地区までの広い学区には、旭川、仁別国民の森、藤倉水源地、如斯亭等、豊かな自然や歴史的建造物がたくさんあります。恵まれた環境にある本校の教育活動の中から、二つの実践を紹介します。一つ目は、「ふるさと教育」です。地域の皆さんと一緒に使う二ホンタンボボの観察、旭川をテーマにした調べ学習、地域の方を招いての生き方学習等、各学年で地域素材を積極的に活用した学習を展開しています。地域の素晴らしい「もの」や「ひと」との関わりを通してふるさとへの誇りや愛と地域の情を育み、地域社会の一員としての自覚や意識を育み、地域の皆さんに見守られているという意識につなげたいと考えています。

二つ目は、「てつなぎ活動」です。異学年で構成したグループで清掃活動や読み聞かせ、ゲーム等を行う全校縦割り活動です。この2年は思うように活動できない時期もありましたが、毎月一度の清掃活動は継続して実施してきました。協力や感謝の気持ちを育むとともに、高学年児童にはリーダーとしての責任感を高める大事な機会です。感染状況を見ながら、徐々に清掃以外の活動も再開していく予定です。

これまでの日々の実践を大切にし、本校教育目標「夢に向かつて やさしく かしこく たくましく」の具現化と、健全な心身の育成を目指してい



本校は本年度148周年を迎えた、美しい水田に囲まれた学校です。強い風が吹き付けされることも多く、子どもたちは「風の子」と呼ばれています。そんな風の子たちは、地域の「人・もの・こと」と関わりながら、楽しく学んでいます。

その中でも本校の特色ある活動としては、収穫したお米の六次産業化です。春には、農家の方から教えていただきながら、田植え体験をします。秋には豊かに実った稲を、一人一人がカマを使って収穫します。春に植えた苗が、大きく育つことを実感することができます。

収穫した米の一部は学校へいただき、五年生の子どもたちが、オリジナルのお菓子に変身させます。地域の菓子店に依頼して「四ツ小屋幸福郎」という製品にして販売しています。今年で7年目を迎えるこの取組を子どもたちは楽しみにしており、「今年はどんな味の新作にしようか」「包み紙はどんなデザインに変えようか」等々、総合的な学習の時間で話合いが進んでいきます。そして、最後は、地域のスーパーで実際に販売体験をします。地域や保護者の方々が笑顔で買ってくれます。

こうして、農家や菓子店、スーパー等、地域の方々の温かいサポートを得ながら、風の子たちは、自分たちの地域について



海の子パワー全開！下浜小の特色ある活動

秋田市立下浜小学校

校長 稲垣 寿

下浜小学校は明治7年に創立し、今年度本校から一面に広がる日本海は、青々と光り輝いたり、時には灰色の波が立ち荒々しかつたりと、日々その姿を変えながら子どもたちを見守っています。そんな雄大な自然に恵まれた本校では、マスクットキャラクターの「かなたくん(かしこく・なかよく・たくましく)」を、目指す子ども像として掲げ、様々な教育活動を展開しています。特に、ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャラリア教育の充実を図るために、下浜中学校との連携活動に取り組んできました。



その中で、特色ある活動としては、今年度58回目を迎えた「駅・浜清掃」があります。この活動は、地域の顔である下浜海岸に積極的に参加する意欲を高めることを目的として長年続けられてきました。中学生をリーダーとして3つの班（下浜駅と下浜海岸2班）に分かれ、下浜駅担当班は待合室と連絡通路・階段の清掃を行い、下浜海岸担当班は大小様々なゴミを拾い、終了時には、想像を超える量のゴミが山積みされました。活動中は、中学生が常に小学生をまいました。この「駅・浜清掃」は今年度で下浜中学校の閉校が決まっており、残念ながら小中合同開催はこれで最後となります。今まで小中合併していなかった財産を糧に、これからこうと思っています。

下浜小学校は明治7年に創立し、今年度本校から一面に広がる日本海は、青々と光り輝いたり、時には灰色の波が立ち荒々しかつたりと、日々その姿を変えながら子どもたちを見守ってくれています。そんな雄大な自然に恵まれた本校では、マスクットキャラクターの「かなたくん(かしこく・なかよく・たくましく)」を、目指す子ども像として掲げ、様々な教育活動を展開しています。特に、ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャラリア教育の充実を図るために、下浜中学校との連携活動に取り組んできました。



雄和のよさを生かした学び

秋田市立雄和小学校

校長 菊地 篤

雄和地区の旧4小学校（川添、種平、戸米川、大正寺）を統合して開校した本校は、今年で創立7年目を迎え、教育目標「おおらかに高くたくましく」のもと、小・中学校併設一体型のよさを生かし、9年間じこく・なかよく・たくましく」を、目指す子ども像として掲げ、様々な教育活動を展開しています。特に、ふるさと教育の推進と地域に根ざしたキャラリア教育の充実を図るために、下浜中学校との連携活動に取り組んできました。



その中で、特色ある活動としては、今年度58回目を迎えた「駅・浜清掃」があります。この活動は、地域の顔である下浜海岸に積極的に参加する意欲を高めることを目的として長年続けられてきました。中学生をリーダーとして3つの班（下浜駅と下浜海岸2班）に分かれ、下浜駅担当班は待合室と連絡通路・階段の清掃を行い、下浜海岸担当班は大小様々なゴミを拾い、終了時には、想像を超える量のゴミが山積みされました。活動中は、中学生が常に小学生をまいました。この「駅・浜清掃」は今年度で下浜中学校の閉校が決まっており、残念ながら小中合同開催はこれで最後となります。今まで小中合併していなかった財産を糧に、これからこうと思っています。

雄和地区の旧4小学校（川添、種平、戸米川、大正寺）を統合して開校した本校は、今年で創立7年目を迎え、教育目標「おおらかに高くたくましく」のもと、小・中学校併設一体型のよさを生かし、9年間じこく・なかよく・たくましく」を、目指す子ども像として掲げ、様々な教育活動を展開しています。特に、「地域に根ざした文化活動や郷土芸能などの継承活動」を学校経営の重点に据え、毎年、地域の方々を講師に迎えて、「大正寺おけさ」の歌や踊り、三味線などの中学生規の門下生として活躍した雄和女米木出身の俳人石井露月にちなんで、俳句教室を開催し、地域の方のご協力を得て、季節感を味わいながら言葉の感覚を磨き、有意義な時間を過ごすことができました。

また、「児童生徒の交流活動の推進」を同じく重点に据え、校種の垣根を越えた交流活動を行いました。今年度は、中学校の生徒会メンバーが、朝の登校時間に小学校の玄関に立つて、あいさつ運動を推進しました。このように、コロナ禍で制限はあります。しかし、毎年工夫改善を重ねながら、雄和の生徒たちは、提案内容に耳を傾け、その内容を級友と語り合う姿がありました。持続可能な社会とのつながり合いを通して、豊かで、安全な社会空間をつくります。このための解決策について研究しています。3年生は、「SDGsの実現に向けた提言」というテーマで、秋田が持続可能な社会となり、企業を通して秋田を活性化するためのアイデアについて研究しています。3年生は、「SDGsの実現に向けた提言」というテーマで、秋田が持続可能な社会となるための解決策について研究しています。全校生徒の研究の成果については、数日間かけ、各学級・学年で熱のこもった予選会を行います。そして、「DOVE ACADEMY」という代表生徒の発表会において、生徒たちは、提案内容について語り合ってきました。持続可能な社会の担い手として自覚をもち、課題意識をもち続ける生徒に成長していることを実感しています。



「総合DOVE」

秋田大学教育文化学部附属中学校

教頭 鑑 基倫

本校では平成10年度より、総合的な学習の時間に「総合DOVE」の実践を重ねてきました。「DOVE」とは、本校の象徴である「鳩」を意味する英単語であり、「独立性をもつて、自発的に学習を満喫する21世紀にはばたく生徒たち」という願いを込めた名称です。今年度は、「持続可能な社会づくりの担い手として、自己の生き方を問う続ける」をテーマに取り組んでいます。1年生は、「社会貢献と立志」というテーマで、秋田県内の企業に協力してもらい、企業を通して秋田を活性化するためのアイデアについて研究しています。3年生は、「SDGsの実現に向けた提言」というテーマで、秋田が持続可能な社会となり、企業を通して秋田を活性化するためのアイデアについて研究しています。3年生は、「SDGsの実現に向けた提言」というテーマで、秋田が持続可能な社会となるための解決策について研究しています。全校生徒の研究の成果については、数日間かけて、各学級・学年で熱のこもった予選会を行います。そして、「DOVE ACADEMY」という代表生徒の発表会において、生徒たちは、提案内容について語り合ってきました。持続可能な社会の担い手として自覚をもち、課題意識をもち続ける生徒に成長していることを実感しています。

秋田市少年指導センターだより

南
部
委員数 43名
担当区 城南中 御野場中 南高中等部
御所野学院中 牛島小 上北手小
大住小 仁井田小 四ツ小屋小 御所野小
事務担当 小松 鳥井 修
会長 友子

東部 委員數 36名
 〈担当区〉 秋田東中 太平中 城東中
 下北手中 桜中 明徳小 旭川小
 太平小 東小 下北手小 広面小
 事務担当 長 船木 勇一 桜小
 会長 工藤 明美

西部 委員數 36名
 〔担当区〕秋田西中 豊岩中 下浜 小
 勝平中 日新小 浜田小 豊岩上
 勝平小 古谷 尚子 正
 斎藤 長 会 務 事

土崎 委員数 37名
 〈担当区〉 土崎中 将軍野中 外旭川中
 飯島中 土崎小 港北小 土崎南小
 高清水小 外旭川小 飯島南小
事務担当 会長 浅野 義信
 鎌田 法子

中央第一	委員数 34名
中通小	秋田南中
中担当区	山王中
中担当	秋大附中
中担当	旭北小
中担当	保戸野小
中担当	築山小
中担当	川尻小
中担当	秋大附小
事務担当	稻岡万紀子
事務担当	洋森
事務担当	長
事務担当	会
事務担当	中央第一
事務担当	委員数 27名
事務担当	菊地 峰生
事務担当	岩谷 文子
事務担当	泉小 寺内小
事務担当	八橋小
事務担当	担当区 泉中
事務担当	会長
事務担当	中央第一

地区少年指導委員会紹介

北 部 委員數 27名
〈担当区〉 秋田北中 飯島小 下新城小
金足西小

専門部会紹介

雄和委員会
事務担当 佐々木昌子
担当区 雄和中 永澤 淑彦
雄和小 16名

会
事務担当長
菅原琢磨
鈴木田鶴子



令和4年度のあゆみ

わかくさネット配信中!
少年指導センターのホームページでいつでも読むことができます。

令和4年度のあゆみ

編集後記

電話 010-8884-3868

で、12月末現在の相談件数は10件
で、昨年に比べると多くなつて
います。11月までは4件と少な
かつたのですが、12月に入り一
人の有職青年からの生活面での
相談が複数回あり、相談件数が
増えました。その他では、小学
生が2件、高校生が3件となつ
ています。この5件の相談内容
としては、進路を含む学習面と
金銭に関わる相談でした。

広報紙「わかくさ」19号にご寄稿していただいた方々に、心よりお礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり始めて早3年、想像もしていなかつた生活の変化で、数多くの学校行事等が中止を余儀なくされました。体験できたであろう貴重な時間は、二度と取り戻せません。残念な気持ちでいっぱいです。一日も早い終息を願うばかりです。